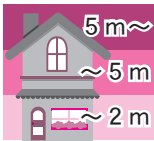


大雨と台風に備えましょう

問合先 危機管理課防災担当(☎65・2138)

これから10月にかけて、集中豪雨や台風が多くなる時期を迎えます。
風水害による被害を最小限に抑えるため、日ごろから準備をしておきましょう。

日ごろの備え3つのポイント



備え その1

浸水想定区域の確認

河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域や、想定される水深などを、洪水ハザードマップを参考に、事前に知っておきましょう。



備え その2

避難所・避難経路の確認

いざという時のために、事前に避難所の確認をしておきましょう。また、自宅から避難所までの安全な経路も確認しておきましょう。



備え その3

非常持ち出し袋の準備

水、食料、ラジオなどの非常持ち出し品を、すぐに持ち出せるところに保管しておきましょう。

被害が発生しそうになったら



風水害の発生が予想される場合は、早めに安全な場所へ避難することが大切です。しかし、夜間や、避難行動が遅れたときは、浸水などにより、避難所まで行くことが、かえって危険となる場合もあります。ひざ上あたりまで浸水した場合は、歩くことが



困難になりますので、無理をせず自宅などの2階以上へ避難しましょう。また、高齢者や子ども、障害者など、一人で避難することが困難な方には、早めの避難を呼び掛けてください。

気象情報の収集

風水害は、あらかじめ情報を収集することで、ある程度、時間帯や規模を予測することができます。テレビやラジオ、インターネットなどで最新の気象情報を収集しましょう。

無駄な外出を避ける

豪雨時の自動車などでの移動は、ブレーキが利きにくくなったり、濁流に流されたりするなどの危険がありますので、極力外出を避けましょう。

市が発表する 避難情報

避難準備情報

避難準備の呼び掛けと、避難に時間のかかる方へ早期避難を求めます。

避難勧告

被害が予想される地域の住民に対して避難を勧めます。

避難指示

避難勧告よりも強く避難を求めます。直ちに避難を開始してください。

耐震化工事のため、一時利用できない避難所があります

市では、26・27年度に、耐震化が必要な全ての小・中学校体育館の天井部分などの耐震化工事を行います。これは、天井材や照明器具などを耐震化して、施設の安全を確保するために行うもので、工事期間中は体育館が避難施設として使用できませんので、近隣の避難所をご利用ください。

今年度耐震化工事を行う避難施設（体育館）

一色南部小学校、佐久島小学校、津平小学校、荻原小学校、吉良中学校、幡豆中学校

避難所として利用できない期間

7月末から27年1月末頃まで

